

伯耆の国 基本理念
「個々の生活観を尊重し、
豊かな心と安心・信頼の
地域づくりを目指して」

けやき



デイサービスゆうらく

いただいた栗で栗ご飯を作りました。

ご利用者が栗を剥いてくださいました。「もっと水に浸けとかないけんわ」「こんな大きな包丁じゃ、いい具合に剥けんわ」などたくさんご指導を受けながらあっという間に剥き終わりました。

出来上がった栗ご飯は、ホクホクで甘い栗🍂とてもおいしかったです。



敬老会



令和7年9月12日（金）特別養護老人ホームゆうらくで敬老会を開催いたしました。

百寿2名の方には南部町長より表彰をしていただき、ゆうらく最高齢の104歳の方には理事長より記念品と花束を贈呈させていただきました。

今年は午前中の式典から午後のお茶会までご家族にも参加していただき、盛大にお祝いすることができました。



ゆうらく



8月15日にお盆行事としておはぎ作りを行いました。

美味しいおはぎが出来るようにと、力強くもち米をついたり、次から次へと手際良くあんこで包んだり、慎重にきな粉をまぶしたり、それぞれに得意な所で腕を振るわれました。中には「ようしませんけん」と躊躇される方もおられましたが、手を動かし始めると体が覚えているもので、周囲の方と一緒に取り組まれていました。作業中には思い出話にも花が咲き、楽しい時間となりました。

出来上がったおはぎは昼食に皆でいただきました。見た目も味も上出来で「今日のはやわらかかったですけん」「あまてええわ」と嬉しそうに頬張られ、皆さん大満足でした。



ゆうらく厨房



ゆうらくにパン屋さんがやってきました！

その名も「ぐーちょきぱん店」
並ぶ商品はその日厨房で焼いたできたてパンです！

開店するとパンのいい匂いに誘われて、多くの方が足を運んでくれました。みなさん思い思いにパンを選んでおられ、中には「これはかかあにやるだ」とご家族のために何個も買われていた方も。たくさんの笑顔が溢れ大盛況だった「ぐーちょきぱん店」

第2弾も乞うご期待！！



デイサービスしあわせ

暑さもまだまだ続いておりましたが一足早くデイサービスしあわせでは、落とし紙を使って、紅葉を作成しています。出来上がった紅葉を壁一面につけると一気に秋がやってきたように感じます。

「全然できんわ～、これでいいかい？」



とみんなで話しをしながら楽しんでおられます。秋はすぐそこまで。みなさま夏の疲れがでませんように。



いくらの郷

いくらの郷には現在4名の方が通所しておられます。

8月には1名の方が就労、1名の方が就労に向けての実習が開始となりました。また1名の方が新たな利用者として通所が始まりました。長期にわたって社会生活から離れてしまっていた人にとって、いくらの郷は「出会いと別れを経験する場」でもあります。日常的に利用者同士で教え合ったり、励まし合ったりする姿がよく見受けられます。休憩時間は一緒に昼食を食べ、談笑しています。作業自体の体験だけではなく、こういった人との関わりを経験することも利用者にとっては新鮮のようです。「自分がいくらの郷へ通い始めたとき、先輩にとってもよくしてもらったから、新しく来た人に今度は自分がいろいろ教えてあげたり、親切にしてあげたりしたい。それが自分にしてもらったことへの恩返しだと思います」とおっしゃる方がおられました。いくらの郷での体験を通じてこのような気持ちをもってもらえるのは大変ありがたいことです。



つくし
保育園



夏祭りの楽しかった思い出から、つばめ組年長児が「つばめまつり」を開催して、他クラスの子どもたちを招待してくれました。

折り紙のたこ焼きを作って、段ボールのたこ焼き機で焼いて、「いらっしゃいませ！」と一生懸命に接客をしていた年長児。

ガチャガチャや射的の遊び方も小さいクラスのお友達に丁寧に教えていました。

年長児はみんなに楽しんでもらえて嬉しかったことでしょう。

最後に自分たちでもお客さんになって楽しんで大満足！



さくら
保育園



今年も地域の方や外部の方に保育園に来ていただきました。図書館の先生には、2歳児クラスと3歳児クラスの子どもたちに、手遊びや絵本の読み聞かせをしていただきました。いつもとは違う雰囲気の中

で興味を広げ、友達と一緒に楽しみながら参加していました。

また、5歳児クラスの子どもたちはガイナールの方と一緒にサッカーやボールを使った遊びを意欲的に取り組みました。トータルスポーツクラブの先生には4歳児・5歳児クラスの子どもたちがサーキット遊びを通して体の使い方を教えていただくなど、いろいろな方々にかかわっていただき、たくさん



編集後記

今年は昭和だと一〇〇年にあたり、また戦後八〇年など節目の年でした。大阪で万博が開催されるなどより昭和に想いを馳せた年であったように思います。個人的にはミスタープロ野球、長嶋茂雄さんが亡くなられた「また昭和が遠くなったなあ」と少し寂しさを覚えた年でした。

そうした年も後わずか。新たな年がすぐそこまで来ています。



ご寄付いただき
ありがとうございます

小林 秀雄 様